# 令和７年度秋期　応用情報技術者試験合格発表　分析コメント

（株）アイテック　IT 人材教育研究部　2025,12,25

10 月 12 日（日）に行われた令和 7 年度秋期の情報処理技術者試験について，応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。IPA から発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして，応用情報技術者試験の分析コメントをお知らせします。

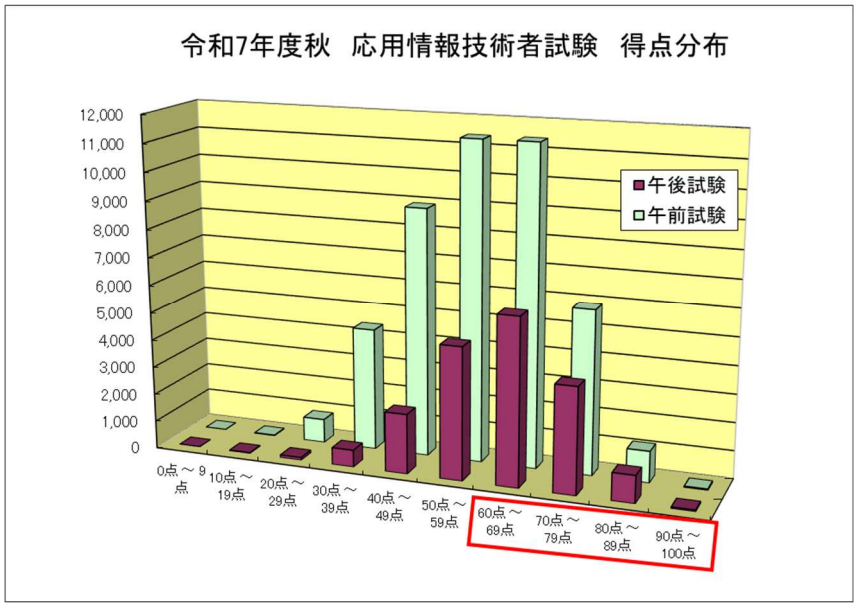
## ■応用情報技術者試験（ＡＰ）

〔令和 7 年度秋期　応用情報技術者試験　統計情報〕

| | |
|---|---|
| 応募者 | 66,835 人 |
| 受験者 | 44,005 人 |
| 合格者 | 10,792 人 |
| 合格率 | 24.5 % |

今回令和 7 年度秋期の応用情報技術者試験の合格率は 24.5%でした。前回令和 7 年度春期試験は令和になってから最も低い 22.1%という結果だったので，かなり上がったといえます。発表された得点分布の分析とグラフを示します。

| 得点 | 午前試験 | 午後試験 | 合格者 |
|---|---|---|---|
| 0 点 ～ 9 点 | 7 | 7 | |
| 10 点 ～ 19 点 | 25 | 27 | |
| 20 点 ～ 29 点 | 854 | 95 | |
| 30 点 ～ 39 点 | 4,392 | 609 | |
| 40 点 ～ 49 点 | 8,902 | 2,140 | |
| 50 点 ～ 59 点 | 11,384 | 4,731 | |
| 60 点 ～ 69 点 | 11,398 | 5,970 | |
| 70 点 ～ 79 点 | 5,868 | 3,788 | |
| 80 点 ～ 89 点 | 1,129 | 981 | |
| 90 点 ～ 100 点 | 46 | 53 | |
| 計 | 44,005 | 18,401 | 10,792 |
| 対前試験比率 | | 41.8% | 58.6% |
| | | | |
| 合格者数 | 10,792 | 採点者数の割合 | 合格者数との差 |
| 午前 60 点以上合計 | 18,441 | 41.9% | 7,649 |
| 午後 60 点以上合計 | 10,792 | 58.6% | 0 |






Copyright by ITEC,Inc. 2025

今回の令和 7 年度秋期の午前試験では合格基準点の 60 点以上の人が 18,441 人で受験者の 41.9%でした。前回の令和 7 年度春期試験の 37.6%から 4%以上も上がっています。前回の午前試験は，新傾向問題と高度の午前Ⅱ試験で出題された難しい過去問題が多く難しかったのに対して，今回は解きやすい問題が多かったことが理由と考えられます。

午後試験で合格基準点の 60 点以上を超えている人（合格者）は 10,792 人で，午後試験採点者数の 58.6%にあたり，前回試験の 58.9%とほぼ同じです。出題された午後試験の問題自体は例年と比べて解答しやすい問題が多かったと考えていますが，受験者の方にとってはそうでもなかったようです。

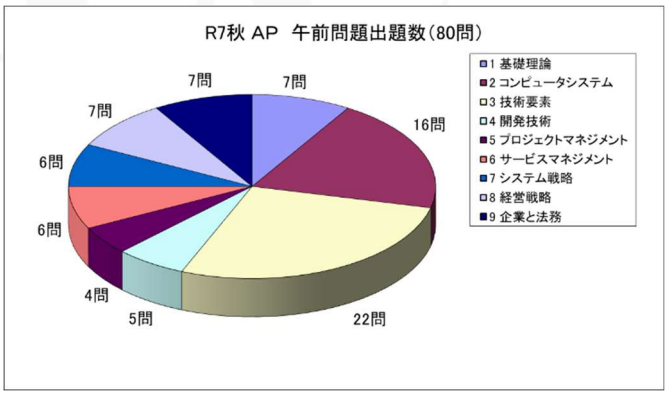
ボーダラインといえる得点結果の人について，午前試験で 50 点以上 60 点未満の人が 11,384 人（受験者の 25.9%），午後試験で 50 点以上 60 点未満の人が 4,731 人（同 25.7%）と，どちらの試験もかなり多くの人が，合格まであと 10 点という得点ゾーンにいます。このゾーンの方は，合格点まで“あと一歩”のところにいますので，苦手と感じる分野を中心に，早めに次の試験対策を始めてください。また，試験直前の総復習も重要です。

## ■令和７年度秋期　応用情報技術者試験の出題内容

**〔午前問題〕　80 問出題／80 問解答，150 分**

午前試験問題の出題形式について，前回よりも計算問題と文章問題が増え，考察問題と用語問題が減りました（計算：10 問→17 問，文章：33 問→41 問，考察：20 問→7 問，用語：17 問→15 問）。特に考察問題が大きく減ったことから全体に解答しやすい問題が多いと感じられました。新傾向といえる問題は 20 問あり，前回 25 問から減っています。新傾向問題の中には，高度午前Ⅱ試験の既出問題で応用情報技術者試験では出題されていない詳細な内容を問う問題もありましたが，前回試験に比べて少なかったといえます。

過去問題の再出題が全体の 6 割強ありましたが，応用情報技術者試験の過去問題再出題は 35 問で前回の 33 問から少し増えました。この他，基本情報技術者試験の過去問題が 2 問ありました（前回なし）。




また，高度午前Ⅱ試験の過去問題の出題が 15 問（前回 18 問）ありましたが，前回，かなり難しい問題が複数出題されましたが，今回の試験では難しい問題は少なかったといえます。

**〔午後問題〕　11 問出題／5 問解答（1 問は必須），150 分**

今回の午後試験問題は，問 1（必須）の情報セキュリティが「企業グループのセキュリティ対策」というマネジメント系の問題で難易度は普通でした。問 2 以降の選択問題は毎回 2～3 問難しいといえる問題がありますが，今回はなかったといえます。なお，問 8 のシステム設計の問題は，直近 3 回がオブジェクト指向設計の問題でしたが，今回は画面設計中心で新しい内容の問題といえました。午後試験全体としては，従来よりもやや解きやすい問題が多かったといえます。


Copyright by ITEC,Inc. 2025

・問 1　企業グループのセキュリティ対策（情報セキュリティ；必須問題）　普通
・問 2　スポーツウェアメーカーの事業領域拡大戦略（経営戦略）　普通
・問 3　最長共通部分列の長さを求めるアルゴリズム（プログラミング）　普通
・問 4　エッジコンピューティング（システムアーキテクチャ）普通
・問 5　クラウドサービスへの移行（ネットワーク）　普通
・問 6　受講管理システムの改修（データベース）　普通
・問 7　猫の自動給餌（きゅうじ）・健康監視システム（組込みシステム開発）　普通
・問 8　モバイルオーダーシステムの画面設計（情報システム開発）　普通
・問 9　開発モデルが混在するプロジェクトのマネジメント　普通
・問 10 社内手続を扱うサービスデスク（サービスマネジメント）　普通
・問 11 情報システムのアクセス管理状況の点検に関する監査　普通

## ■令和８年度の応用情報技術者試験の対策について

次回令和 8 年度から，応用情報技術者と高度情報処理技術者試験が PC で受験する CBT（Computer Based Testing）になることが IPA から公表されました。従来の記述式の設問も CBT で実施されることになっています。なお，従来の午前試験は科目 A 試験，午後試験は科目 B 試験と名称は変わりますが，出題内容は変わらないとされています。

応用情報技術者の科目 A 試験（旧午前試験）対策として，過去に出題された高度の午前Ⅱ試験の難しい問題も出題されることがあるので，過去に出題された応用情報技術者試験の旧午前問題を演習として活用し，余裕をもって 7 割以上正解できるように，日頃から知識の理解度を上げていくようにしてください。

IPA から公表されている統計情報を分析すると，応用情報技術者の旧午前試験で，60 点以上取れた人は 4 割から 5 割台が多く，問題が難しいときには 3 割台のときもあります。応用問題に対応するためには基礎知識を確実に理解する必要があり，苦手な分野の学習は基本情報技術者試験レベルの内容から復習して，確実に知識を理解してください。

科目 A 試験の出題範囲は広く，全体をまんべんなく学習するにはかなりの時間がかかります。試験対策としては，これまで出題された出題内容のポイント事項と必須問題を重点的に解説したアイテック刊行の「2026-2027 高度科目 A-1・応用情報 科目 A 試験対策書」で効率よく学習を進めてください。

科目 B 試験（旧午後試験）の対策としては，各問題の出題テーマに関連する旧午前試験で出題された知識を確実に理解し，問題事例に対して学んだ知識が適用できるようになるまで，しっかり演習を行う必要があります。なお，令和 5 年度から実施されている新しい基本情報技術者試験の科目 B 試験はアルゴリズムとセキュリティ問題だけの出題になり，幅広い分野から問題が出題される応用情報技術者の科目 B 試験と大きく内容が異なります。このため，基本情報技術者試験を合格してすぐに応用情報技術者試験を受験する人は注意してください。易しめの応用問題として基本情報技術者の旧午後試験問題を利用する場合は，令和元年秋以前の午後試験問題を利用することになります。応用情報技術者の科目 B 試験で出題される問題を解くための知識と解法のポイントについては，アイテック刊行の「2026 応用情報技術者 科目 B の重点対策」で，ていねいに詳しく説明していますので，ぜひご利用ください。


Copyright by ITEC,Inc. 2025